立命館タイムス
発行所
立命館中等部新聞部
京都市上京区北大路室町
電話西陣 182・7140番
編集兼発行人 相馬 滋

新學制に沿つて 學園改革審議中

末川學長語る

十二月六日、記者は末川先生を大学々長室にお訪ねして六・三制その他について次の様なお話をうかがつた

新しい憲法が公布されてからまさに一年、この間にあらゆる方面で本和國家、文化國家ないし道義國家として日本が進むべき方策が講ぜられているのであるが、教育の面においても教育基本法や学校教育法などに謳いて新しい形態と新しい内容を持つた学制の改革が進められつつある。そこで、この線にそつて我が立命館学園でも既に今春新制中学としての立命館中学及び神山中学を開設しているのであるが、更に高等学校への切換も着々その構想をねり準備をととのえており、なお進んでは大学の整備も立命館学生改革委員会において審議を重ねているのであるが、こうして中学から大学へ連なる一貫した立派な学園を構成する用意をしているわけであるから、現にこの学園に学んでいる学徒諸君は当局と協力して学園の発展の為に立命館学徒としての誇りを高め大いに自重する様にお願いする

学徒が学徒としての誇りを失うことなく憲法にいわゆる個人の尊厳を自ら守り、自ら主張して自主的に行動することは学園を民主化する根本の要件である、そしてそれは本当の自由というものを共同生活において活かすことなのであるが、自由というのは自ら考え自ら行うことにおいて良く責任を重んじ、よく規律を守る場合に考えられるのであつて、我がまま勝手、したいほうだいをするというようなのでないことはいうまでもないことに学園の協同生活においては学徒各自がお互いの自由を尊重し合い人権を認め合つて学園全体の機構の下によく規律を守りハツリとして明朗に行動する風を養わねばならない、即ち戦時中に失つた理性を取りもどし智性をみがき常に前途に希望と光明とを求めてたゆむことなく朗らかに前進することを望つてはならない、私はこの度諸君が立命館学園の学徒として学園全体の為に学徒の誇りを失わず、自重して自主的に行動せられんことを重ねて希望する

「立命館タイムス」の 創刊を祝して

近畿地區軍政部

君達の文化と知識を向上する目的を以て立命館中学の生徒諸君が立命館タイムスという新聞を発行しようとしておられます。私は編集の幹部諸君、生徒諸君にお祝の言葉を申し上げます。

アメリカの多くの中学では新聞は伝統的な地位をもつており、それは生徒の手によつて生徒の為に運営されております。新聞が生徒の活動に関するニュースを提供する唯一の機関である場合も少くありません。又しばしば賢明な先生の指導によつて学生生活の視点を失わずにしかも学生生活の範囲をこえ、科学、政治、海外事情、文化の領域に入つてニュースを提供し、ニュースを分析しています。生徒達は二頁か四頁の中学校新聞から始めて、大都市の新聞の専門記者、老練な新聞記者になつております。彼らはスポーツ欄をタイプし、広告を集め、放課後教室に集つた昔の学校新聞のことをなかば忘れながら深い愛着を以て思い出すのです。

立命館タイムスの編集者、読者諸君、あなた方にもこの様なチャンスが与えられているのです。それは又君達の新聞とその持るべき理想を発展させ、又君達自身を精神的に向上させるチャンスでもあるのです。君達がどこにおられようとも出来るだけ君達の新聞に協力して下さい。広告を集り、発行部数を増すように努力して下さい。詩論文、小説、スケッチ等を投稿して下さい。どうか生徒諸君が協力して新聞をよくしようと努められる限り君達の新聞がよいものになるということをお忘れないように。

君達が建設せねばならない平和な民主的な日本の社会に於いて、立命館タイムスが現在の学生にとつていかなる礎石としての意味を持ちうるでしようか。又君達の内のどれだけ多くの人が将来尊敬さるべき高い地位から、深い愛情と感謝を以て、立命館中学と立命館タイムスを思い出すことでしよう。

論説 學園の在り方

立命館中学の諸君、何より大切なのはだれかが言つた様に混沌の虚無から抜け出て、自然によつて包まれているヤミをその理性の光によつて遠い拠り所なのです。徒らな偏見にとらわれないで寛厳なく我が学園の在り方に就いて批判しなければなりません。進歩的なものは必ず批判的なものの中から生れるのですから。ここで私が学園の姿に就いて今ひと度反省するのは、実はそれによつて雌かしい明日への足場を見出さんがために外なりません。あの軍國的色彩濃厚だつた義勇隊、金もうけ主義的な経営方針、自らを立つちやんと卑下する卑屈な遠慮、こんな旧態的なものが真理を探究する学園を汚し、今もなおその残骸が依然として巣食つているのです。若し私達がこの現実に目を閉じて、漫然妥協の廃をすすつて憂身をやつすなら恐らく我が学園は奈落の淵に落ちる外ないでしよう。二流から三流へ滅びに至る門は大きく、その路は暗く、且これより入る者の多いことをゆめ忘れてはなりません。

先に述べたように学園を限らしめた第一のものは営利的な経営方針です。従つてこの学園において知性の向上とか文化の創造とかは思いもよらず、ただ利潤の追求と学徒の大量生産が至上の課題となつていたのです。立命館は最早学園でなくして株式会社だつたのです。諸君我が学園を二度とこのような邪道に陥らせてはなりません。真実を求め、真実を尊び、真実に従つて行動するのが私達学徒の使命であり、学園は必ず真理を愛する智慧人の集いでなくてはなりません。量(形式)から質(内容)へ、財閥の支配する学園から生徒自身の学園へと我が校は正に変革期にあり、この意味で私達も一つの革命を身を以て実践する事を要請されているのです。

つぎには我が学園には自ら立つちやんと卑下する卑屈者が多くいる事です。その上との軽薄すべき卑屈者が内にあつては努力を以て学園を逆行せしめ、外にあつてはその不良行為によつて我が名を汚しているのです。諸君はここで反駁するかも知れない。それは何も我が学園に限る問題ではなく社会的環境の然らしめるところであると。もち論学園も一つの社会の部分である限り衆芽の摂のみの力で解決する事は恐らく不可能でしよう。けれどもそれが生徒諸君の堕落を許す可きであると言う理論にはなりません。かくの如く諸達をして社会の濁流から救い得ず混沌の手に委ねた事に対しては、私達教師もその責めを負い諸君や諸君の父兄の方々にお詫び致します。今迄の立命館にはこの様に確かに恥ずべき点はありました。けれども私達は卑下する代りに反省インフレの元進と共に大学へ云々とは別個に値上げが行われることは止むを得まい

そのような相談をうけた事はない

問　授業料増額は計画されているか

答　今の所ない。しかし今後インフレの元進と共に大学へ云々とは別個に値上げが行われることは止むを得まい

問　牛徒の帽子や服装については

答　学生らしい服装でさえあつたらよい、現に囚われ型にはめる必要はない

喫煙の問題

問　喫煙はある程度まで黙認しているのか

答　断じて黙認はしない。学校で発見した場合は即時退学させるべきだと考える。喫煙者の潜である地下道を近く閉鎖する予定だ

問　喫茶店に入ることはどうか

答　授業中以外に行くのは現在の段階でよいことではないが本人の自由だろう。しかしそこで喫煙したりしてはいけない

問　男女交際については

答　社会的に自己の身分を認識し、自制心を失わぬことが望ましい

問　先輩お話のあつた「男らしい」とはどんなことか

答　正しいと信じたことは断乎として生徒し実行することだ。例えば今度知事は選挙民によく思われたいために供米の割当てを少なくしようとしたが、もし自分の椅子の安全をのみはからずに正しいと信じた通りに割当てたとしたら男らしいといえる。また戦争中に戦争は悪いといつて投獄された者等は男らしい。しかし悪いと知りつつ投獄されるのがいやさに沈黙していた本口は彼等よりは劣るしい、この他に悪いと知りつつ何とか計画を合わした便乗者をあつたが、果するに男らしさは正義感の問題さに比例する

問　自治会が指発でないのは生徒たちが「進歩に対する熱」がないからだと言われたが、その熱を喚起させるにはどうすべきか

答　これから指令によつて行われる三十時間にわたる先生に対する啓蒙運動が、その問題解決の根本となるだろう。私としては生徒が正しいと考えたことは出来る限りその遂志を貫徹して、その考えが通るようにして行つてやりたいと思つている。正しい主張はたれの言つた事でも、何時でも、通るものだと信じさせることが、自治の熱を喚起させる一番いい道だと思つている

自治の精神に徹し

進歩への熱をもて

平口一中校長と對談

問　米人教師に嘱託して英会話を読んにしてはどうか

答　そうしたいものだと思う、しかし君達がやりたいと思うことはすぐにも実施さるべきだと考えるのは思慮が浅い、仮に専任の方は望むを得まい

自治會の活動

問　自治会の活動について

答　要は君達の自治に対する熱だ、新聞部の者でも野球部の者でも何かをしているが、唯勉学しているだけで何もしていない者がいる、進歩に対する熱のない者に自治会をやらせるのは無理だ。自治とは自ら治めることで、すべて君達で計画し、実行して行くことだ、自治会は君達のものだが君達はまだ完全とはいえないから先生が指導する場合も大いにあり得る又自治会は正しい進歩的を事を決めるために存在する君達の希望野望を充たすためにあるのではない、例えば明日は授業をやめて映画を見にゆこうというようなことはかり定めるために存在すると思つてはいけない、飽くまでプラス

修學旅行は

問　修学旅行は行うか

答　修学旅行は華しく、いい思い出を残す意味で行いたいが、社会情勢を見るとき本口は絶対反対である

問　本校への編入は今後許せぬ方針か

答　学級数の突際の縮小は将来のことで完全に整備されるのは数年後である。縮小を現在急には行えないのであるから編入生も出来るだけ厳選主義で許可せざるを得ない

問　設備を充実してゆく計画はあるか

答　理科の実験用具を購入する位が精一杯で、大きな設備例えばプールなどを作ることは今の所全く出来ない、しかし学園全部としてはグラウンドを作りつつありプール等を作る計画がある

問　先輩お話のあつた「男らしい」とはどんなことか

答　正しいと信じたことは断乎として生徒し実行することだ。例えば今度知事は選挙民によく思われたいために供米の割当てを少なくしようとしたが、もし自分の椅子の安全をのみはからずに正しいと信じた通りに割当てたとしたら男らしいといえる。また戦争中に戦争は悪いといつて投獄された者等は男らしい。しかし悪いと知りつつ投獄されるのがいやさに沈黙していた本口は彼等よりは劣るしい、この他に悪いと知りつつ何とか計画を合わした便乗者をあつたが、果するに男らしさは正義感の問題さに比例する

問　自治会が指発でないのは生徒たちが「進歩に対する熱」がないからだと言われたが、その熱を喚起させるにはどうすべきか

答　これから指令によつて行われる三十時間にわたる先生に対する啓蒙運動が、その問題解決の根本となるだろう。私としては生徒が正しいと考えたことは出来る限りその遂志を貫徹して、その考えが通るようにして行つてやりたいと思つている。正しい主張はたれの言つた事でも、何時でも、通るものだと信じさせることが、自治の熱を喚起させる一番いい道だと思つている

便乗主義の現在の政黨

現在の政党は一体何をしているのだろう。やれ「自由」だとか「民主」だとか、まるでなべき坊主のお題目のようなことを口になえている感じはお題目は有難かろうがお題目だけ位なら、何も坊主の世話にならなくても十分だ。又われわれは近頃の「鉄道員」に乗り信用がおけないが、凡そ「暗号便」という職業ほど危険至極なものはないと思う。議会へ乗つた連中が少しかすりずり変えられているのだから——。

一方「社会」や「共産」はどうか。火消しの縄張り争いの結果、漸く鎮火だけには勝つた片山組ではあるが、肝腎の火は一体何時になつたら鎮火することやら——。「水長」なんてまるでポンプ屋のような親分が揃つて出て来て、火を消してくれるのかと思つたら罵ばかり消している。

「共産」の「暗殺」は、僅かばかしの赤燐寸で火をつけようとあせつているようだが、この連中がどんなに放火を事としても、これこそ赤ん坊の火なぶりだ。そのうちに火傷をしなければよいが。

赤チヨーク

ペンは剣より強し、青鉛筆は鷹々その両者より強し、といわれる

×

プリユー・ペンシルとはアメリカの新聞編集者が常に用いるもの

×

「知らん、知らせん、知られん」の欲望から新聞は発生した

×

犬が人に噛みついた時、それはニュースではない。人が犬に噛みついた時、はじめてニュースになる

×

少数の人が知つていることを知らせるべき多数の人々のために発表するのは喜ばしい義務だ（A）